



東 巳
國花萬葉記

佐渡	能登	若狭
	九	四
越中	越前	
共	十二	
越後	加賀	

○小陸道 七箇國
比列國各半理物類管凡大延在日

卷之第十二

ル 3
3671
20



門 3
號 3671
卷 20



本日

園花萬葉記

卷之十二

小陸道

七箇園

小方乃陸道也其園あり小陸乃と
つふなり 兼り天皇此北天幸七月小
武内宿禰つくりて小陸及び東方此
信國と見たりと云々

若使園

三箇

中後三朝 南小一日也
海らりて風素也

魚龍利鉄後海とて貢を録し小上園

遠敷

大飯

三方

田穀三五百三十九丁

知り高八万五千九十九石

昔此園小吏婦ありと云は古史に人主
奉教と云く此容貞ありて奉教此
こと後神と云今一宮神と云り
これより月と云後此と云あり

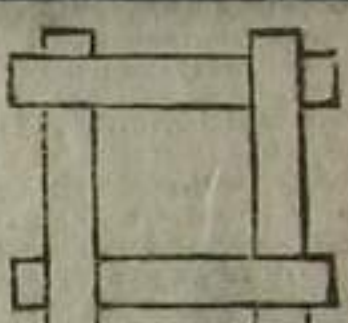
風土記抄

小濱御成

百廿九里

小濱御成

百廿九里



酒井修理者夫忠順
 四品 酒井修理
 拾万三千五百八十八石
 内内室松平伯耆守娘
 三浦左馬助

押
 上昆吾内中
 系輝小治一人
 大伴松平内平兼下

傳の
 三つ
 三つ
 三つ

酒井叙員佐忠義
 叙員佐
 辰巳控者夫
 斤墨控者夫

内内室松平右亮亮婦
 押駕
 右日形
 ゆんき

傳の
 三つ
 三つ

酒井氏正家系

酒井雅正源正親二男

源忠利 備後守
 忠義 叙員佐
 忠順 候程者夫
 寛永十一年酒井氏代之

富岡神社

遠敷大明神

一宮記
 乃由乃又忠元年乙卯九月十日
 西那の内靈河乃源白乃上

日中紀云云
 衣有海神之情
 海神の女長火

林乃林乃
 教見教見

摩道大明神
 上林大明神
 常大明神

御田大明神
 多田大明神
 八幡大明神

美久二年九月
 依八幡大明神

小侯
 南社

依八幡大明神

依八幡大明神

依八幡大明神

高田佛橋

神光寺

寺表於之 高田の西に在り

此の寺を年中に國中の夜更に於て
く起りて入るありて二時を過ぎしに
神光の如き光りて此の寺に在りて

松尾寺

海入、まかす観音 妙法蓮華

海入寺

小浜に在り 建暦年中に建之

常高寺

本下長壽建之 号松月山 今
築衣所 ち於三百石

法源寺

三方に在り

妙光寺

所尾村に在り 後醍醐天皇御
所

正福寺

大板船田中に在り

日國中各所之記

長味山

高田乃山海をたむき山あり

三形乃原

海をたむき山に三形海も山あり

三形乃海

高田乃山海をたむき山あり

泉立山

三形に在り

高田小浜

十八里あり

三形

高田乃山海をたむき山あり

小浜

三形に在り

三形

高田乃山海をたむき山あり

作垣

高田、三里あり

三形

高田、六里あり

教家

高田、三里あり

足田

高田、三里あり

教家

高田、三里あり

足田

高田、三里あり

教家

高田、三里あり

穀類 今山陰乃... 湯川と一里正田湯川... 若狭... 尾高... 日向... 雄川... 尾高... 日向... 雄川...

右若狭國各物出所

白木 赤松 藤葉子 蓮子
 厚紙 石解 幸灰 石灰
 揚枝木 熊川持木
 尾高 日向 雄川
 尾高 日向 雄川
 耳恒貝 刺 烏織
 小松原ツノ字 鼻折組 烏織
 大港尾名 厚紙 各油... 黒岩石
 厚紙 各油... 黒岩石

右若狭國分上

大日本小陸道 七ヶ國之内

越前國 越前

大坂 丹生 今立 足羽
 大野 坂井 黒田 池上
 柿田 吉田 坂小 南條

知り多六十八万武六百四十石

福井御城 百二十里

松平越前守齊承

長四倍上右福 ナリツガ
百井与三万石



上 中 下
 下本取十石川

新編

二平

御子の

ちん

あふ

丸打



駕

のめ
致さる



御
松平於義丸

御内室

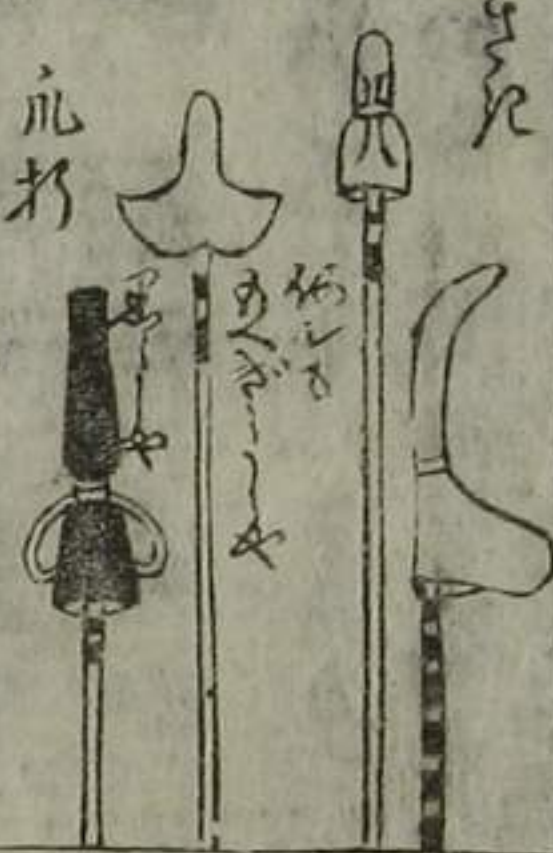
金御杖

御杖

押駕

右日乃

中おひり
二平
御子の
丸打



松平氏御家系

源秀康

正三位

於義丸

齊承

女子

於義丸

慶長六ヨリ 執事家被成之

丸園御城主

百二十里

有馬左衛門佐徳純

改姓友右
有子内儀
右系

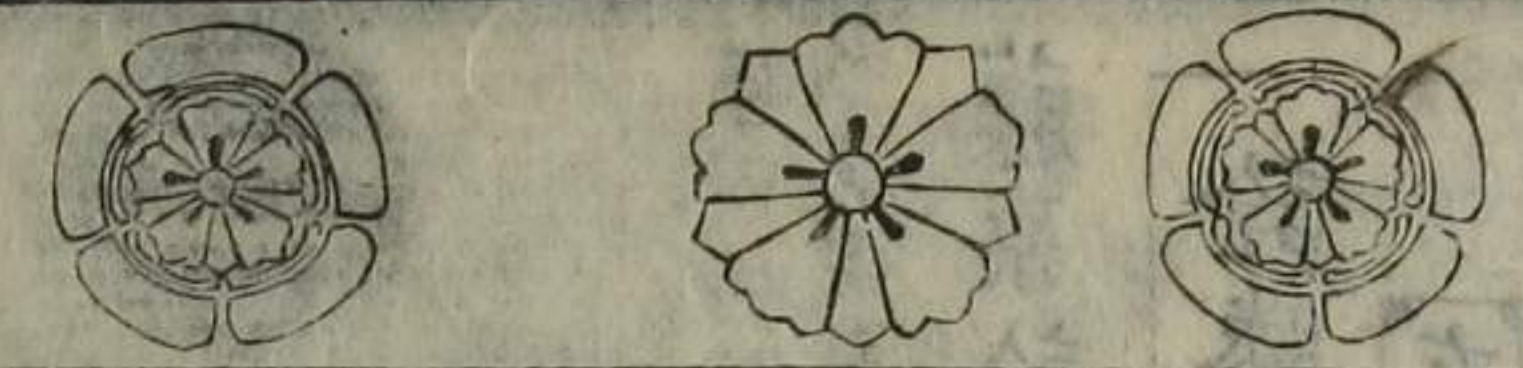
御内室貴父友之儀佐源

御や・上志を宇田門下・中己を
下し二葉下・下源川橋すまじ

き・系於西のさうん
大坂ごうトス

押
か
右日乃

押
か
右日乃



有馬氏御家系

大職冠藤足苗裔伊豫藤純友後胤遠江種也
徑池在肥後國

藤原貴純

肥後三郡主稱肥後形

有馬氏御家系

徳純 左衛門佐

實林系

有馬氏御家系

新編 武蔵野

百二十四

間部下總守詮勝

小堀初十良
曾我友助
乙井治平

押内室松平周防守娘

上三田小山・中不芝三下め
下品川文井

右刀持



押地くら
り人白

二平



陸尺月形



間部岩次郎

附

押内室

間部氏御家系

陸川伯言信氏嫡孫刑部詮光有故依母氏
孫及同嫡及六代之孫詮房兼 右命撰以部ま

藤原詮清

同部

是方由部殿室と被代也
之巨くハ吉成と云ふ

詮勝



岩次郎

享保五ヨリ 間部氏殿之

大野御城主

江戸分 百四十一

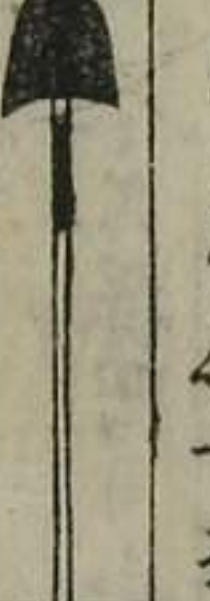
古井能光と利忠

田村左三郎
村井忠三郎
長源三右衛門

押内室戸次大和守娘

上り・中・下大つ
下目・下幸所と云ふ

二平



押地くら
くらん

右の形



地くら
らん

押内室

古井氏御家系

土井大炊頭四位少将利房三男

源利房

能光

是方由部殿室と被代也
之巨くハ吉成と云ふ

利忠

天和二ヨリ古井氏殿之

勝山御城主

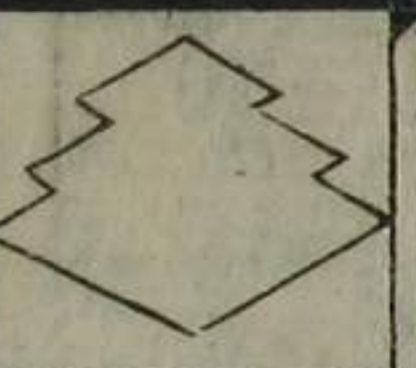
江戸分 百四十四

小笠原長貴

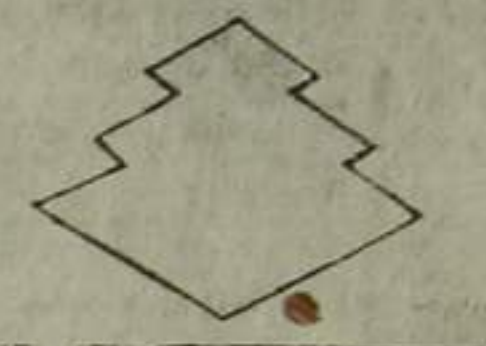
山田初八
安田八

長貴下
二万二千七百七十七石

押内室



柳也・上西之原九下・下下管地のもこ



ら
かごの
あ
小押
日乃

柳

小笠原氏柳家系

小笠原お権お長七世

源貞宗

小笠原信忠
後二位
皇太子
皇太子

長貴

お権

某
お松九子世

某

從之助
子世

女
子世



虎之助



お光九

某
中子世

元祿四ヨリ小笠原氏

敦賀柳領主

百廿四リ



酒井系

加友若



柳



佐の

其

柳

柳家系の系別小旗之由縁之系

當國神社之由

氣比大社

或説
敦賀郡

氣比乃社
仲哀天皇

天
天
北七日後一位社階記

又云
同仲之
建
應神太子乃時令降

長門大社

長門郡

祭神
天

祭神

為村天皇五世の孫之武院の内一説小
為村の由子と二麻の由子と云々云々
郎子と云々云々と云々云々と云々云々
乃父なりと云々又云々云々云々云々
私受王と云々云々と云々云々と云々
信乃父なりと云々云々と云々云々と
武烈帝にて仁徳乃孫終りれり大徳金
村文運物於藤原大文運巨勢男人大
臣為繼信と云々云々と云々云々と
あへて金村と云々云々と云々云々と
即位しあふ附歳八十八歳と云々云々
一後又曰乙卯小正月後又大和縣余
五徳実山正一乃五位廿六年二月
あふ元年八十二冬並野陸小暮も
是神の神をかり 共三代一境 曆事
あへて天皇の壯大なりて士と云々
礼一云々 略かめく性為仁者唯小世
く天徳と云々云々と云々云々と云々
紀ふくくくくくくくく

神明

社外百五 別冊
福壽院
あ社ハ信勢由史之後古庄門院延應年

八幡宮

福井ニ在 山親野院永禄四年
九月御勅建立也 龍圖宮作之由曰社

白山権現

大群ニ在 社外ニ在 別首重泉也
あ社ハ白山山呼乃山神也 元正天皇五ノ
宇吳龜二年加賀國石川郡 祝司云々

月社

社外中石 別當室室院
天瑞宮 福井ニ在 天原元年 葦村ノ宮

牛吹天王

福井ニ在 延喜殿院 心守二年
徳宮ノ中ニ在 尾列津 祝司云々
天正ノ下ニ在 勅信云々云々

高木神社

川合ニ在 桑林大己貴也
在福ニ在 あ社 福井ニ在

日永神社

あ社ハ信勢
粒泥乃爰化也 常武のあ清也 云々
年中に六月廿六日あり 同廿八日あり 乃
うり男也 祝司云々云々と云々云々と
これと云々云々と云々云々と云々

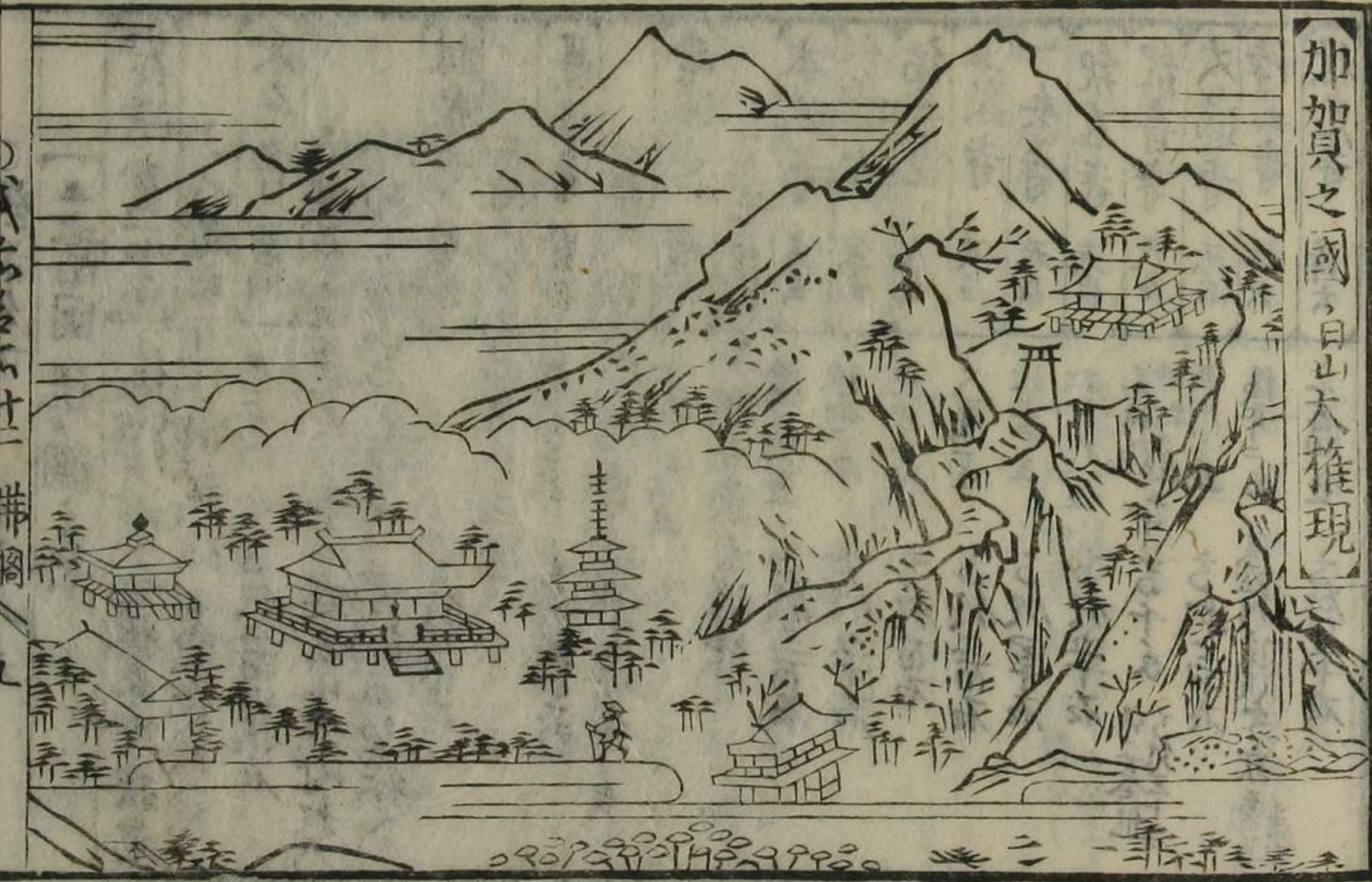
弊文神社

坂井ニ在 あ社ハ信勢
あ乃あ社ハ元仁天皇天武元年ニ在

越前之國 氣比大明神



加賀之國 白山大権現



加賀之國 白山大権現

▲富國佛欄之類

上谷佛堂一白宗 後堀河院喜孫年中親書

上人建立本号阿弥陀 志光大师他

永平寺曹洞 号吉祥山 古刹二百廿五石

後深草院建立又年二建立山際时乃

隆經之用山乃元禄时曹洞家物孫之

林泉寺曹洞 古刹二百石

右同寺用山乃元禄时

長福寺曹洞 福井三立 古刹五十石

正親町院正朝倉義景建立之寺

香通寺曹洞 大野三立

花園院正用山惠云祿師

本城寺 蒲原三立 古刹三百石

合剎院 枚山三立 古刹五十石

福徳院 福井三立 古刹五十石

普泉寺 大聖三立 古刹二百石

一乗寺 池上三立 古刹四十石

観音寺 松江村三立 古刹五十石

大通寺 中村三立 本号千々仍其基他 古刹三十石

津去寺 後井三立 後堀河院正親書建立之寺

林光寺 上吉田三立 古刹五十石

正福寺 伴六 东町三立 古刹七十五石

西光寺 津去 东町三立 正親町院正天正年中建立

香光寺 津去 尾村三立

上妙寺 三多門院 結江三立

法总经寺 法总 福井三立 後深草院正日徳上人

妙蓮寺 法总 大野三立 同基上人仍其基他

▲富國名所之類

小坂乃山 名素三立 阿寺

万石三立 本号吹小三立 名素三立 阿寺三立

那乃山 山以西東三立 海及以南乃三立

名素三立 阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立

乃阿乃山三立 阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立

又博山 阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立

阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立

阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立

阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立

阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立

阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立

阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立

阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立 阿寺三立

▲厚紙 ▲連尺 ▲半頭布 ▲袴布
 ▲刺織布 ▲芳層頭巾 ▲蒲肌半
 ▲菱 ▲海 ▲胎綿 ▲切石 ▲常度
 ▲金津 ▲薄 ▲ウハニツ ▲兼文 ▲中骨 柘櫨
 ▲細代 ▲籠裏 ▲所 ▲染 ▲同所
 ▲穀 ▲小荷 ▲結 ▲疋田 ▲結 ▲三國 ▲結 ▲同結
 ▲結 ▲日 ▲結 ▲同 ▲蒸 ▲結 ▲老海 ▲角 ▲大嘴
 ▲丸墨 ▲素 ▲結 ▲夕 ▲ノ ▲油 ▲木

右以上越前國分也

大日本北陸道 七箇國之内

加賀國 加列
 上後日越東西三箇國
 地帯に於て所産物

加賀府 江波 結美 石川 河川
 知行高田指田万二千五百七拾石

金澤御城主 百八十一丁余

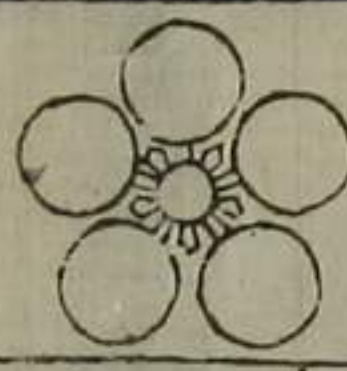
紀云 天皇弘仁十年三月日新
 三郡と割て加賀國と成加賀ハ郡名之云々

加賀中将齊泰卿

正四位 百二万二千七百石
 例用人
 長 甲斐守
 奥村 丹波守
 横山 山城守
 本多 備前守
 石 飛騨守
 折尾 左衛門

- ・上本々下目
- ・中保井
- ・下板

竹馬
 如志の
 金紋
 御旗
 押馬
 駕
 附



御 松平六平代
 直内

松平氏御家系

尾州藩東初荒子松主
前田松平友房
前田又左衛門

菅原利家

正四位
加賀守
一任二位大納言
贈後一位

長子尚徳以五十五
歳代迄之ヲ一ノハ
イテ其ノ後ニシテ

齊泰

正四位

六千代丸

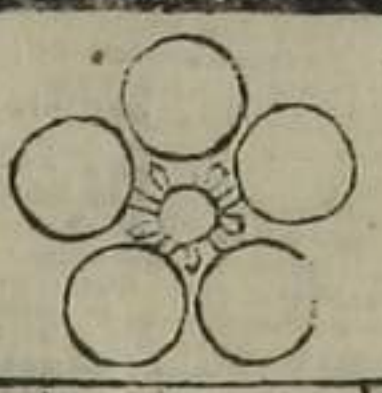
大聖寺御城主

百二十九

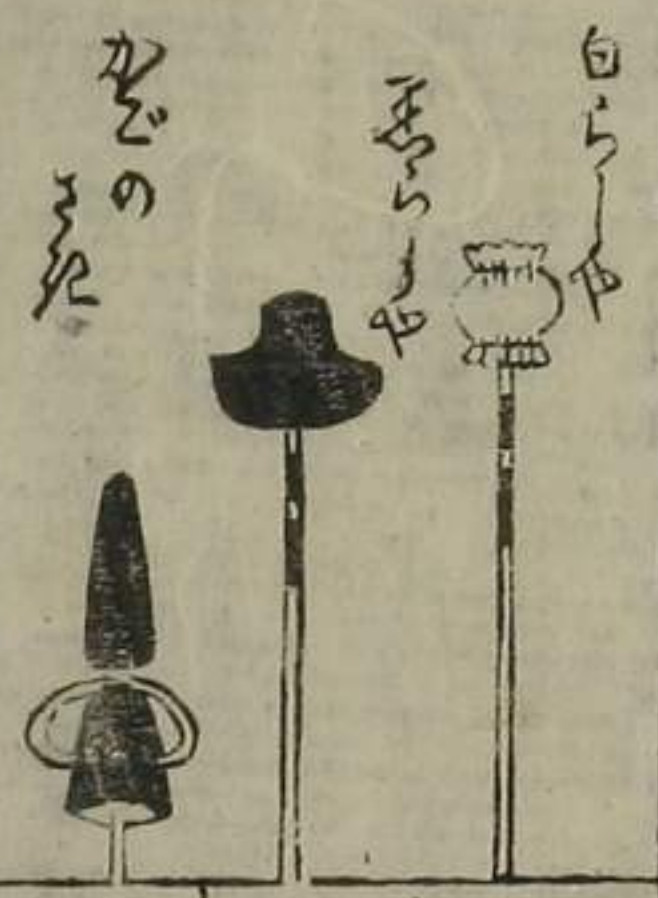
松平備後守利之

正五位
十石

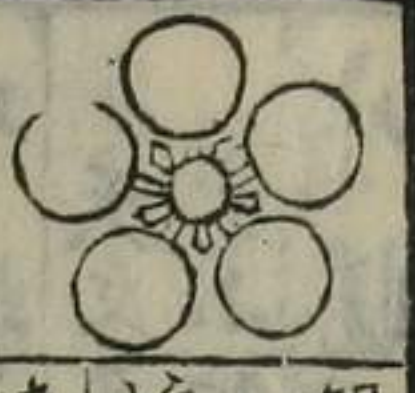
前田大隅
前田左膳
佐分儀



御座
上 下台比のまゝ
中池のまゝ
下 下んと本

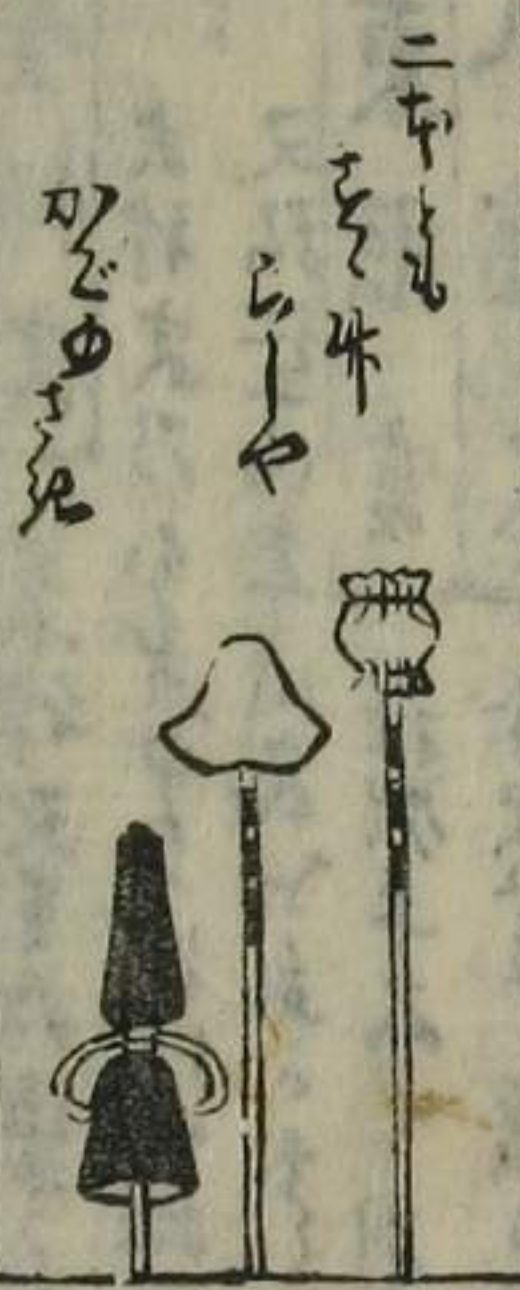


押
白
駕
白



御座
松平源右郎利極
直内室松平加賀守の娘

附
大幸百助
田中因彦



松平氏御家系

菅原利明

正五位
四品

長子尚徳以五十五
歳代迄之ヲ一ノハ
イテ其ノ後ニシテ

利之

備後守
四品

利極 能書長

其
造原丞五

慶長五ヨリ松平氏於之

當國神社之記

白山大権杖

石川於之 又号妙理権杖

別当

南比ケ古之内 昌隆古
北田ケ古之内 隆明古

▲祭神 伊弉諾尊 上三社司理 天記

此廟の伊弉諾伊弉册乃日子之日本地有

▲靈龜二年丙辰辰辰の宮より赤山乃

地主伊弉諾の命也之 又左乃赤山乃

伊弉諾の命也之 又左乃赤山乃

又左乃赤山乃 伊弉諾の命也之

即ち大己貴乃命也之と云く改唐記云

伊位 貞觀元年正月廿七日三位神滿記

白山三石柱現乃神傳日本紀神社考

式の靈表記云乃有取捨事 今果之

也信小孫産より 効験一天小孫之利

蓋中河小孫 示現神傳乃其神之由也

後素良院乃由宇天文二年三月廿日山岳

乃焼く神蘇小地獄來現すと云く

▲金銀史 崇神天皇乃由宇高岡山岳

大井史乃分身有り 同神社遠主と云く

又弘仁十四年天皇と云く 神社考

▲東照宮 社於千本 別當 神漢古

八幡宮 全氏主 後素良院の由也

天文年中小山城國石原の山に福史とい

ふ小勅傳 一と云く 事と云く

▲八幡宮 小松の町主 尚社の勅傳縁

起東神 尚社乃 實地小古 無差別當

實地乃 乃乃の事と云く

▲神明 全氏主 老茂院傳云 正慶年

中 信實の事と云く 傳勢内外乃由神と

云ふ小勅傳 事と云く

▲天神 大聖古敷地也

▲天満宮 全氏主 伏見院傳云 永仁年

九月廿五日 山城國小野右近と傳 乃兼神

乃又云 乃乃の事と云く

▲祇園社 全氏主 尚社 皇河津の祇

園牛頭 天王と勅傳 事と云く

▲福新社 全氏主 尚社 伊弉諾神傳縁

起る傳未詳 山城玉作奈利 山小孫産

一乃乃の元 的天皇和洞 二年乃り云く

▲額西の神 額西の神 乃乃の事と云く

後延川院由宇

就喜年中 以紀列德聖之所 控現云云

所云云 乃乃の事と云く

▲富國佛欄之記

▲天平寺 尚古の天智天皇乃由 乃乃の事と云く

年中 小孫列 用基 恭定上人 由石勅云云

唐く天正年三長火不引り又前田排敷
建立と云々

大糸寺 曹宗

全沢立 開山乃元和尚建立

尚河小乃元和尚入唐此村一取小書寫
之小抄若輩集乃書あり

洞松院 孫宗

全沢立 海得寺 孫宗 全沢立

法善寺 孫宗

全沢立 大登山 孫宗 日所

正福寺 孫宗

日所 林光寺 孫宗 日所

行泉寺 孫宗

日所 万松寺 孫宗 日所

光雲寺 孫宗

日所

林文院 玄云

日所立 本寺 某作如來

觀音院 玄云

日所 尚之の前田氏乃形取不云く天正年中再興

吉祥寺 玄云

日所 本寺 某作如來

本法寺 法云

全沢立 後去此門院乃西寺不

此福寺 法云

全沢立 後去此門院乃西寺不

西光寺 一向云

全沢立 正親町院天正年中立

淨光院 一向云

日所立

正光寺 時宗

日所立 本寺 河原院以蓋天降

加賀國中名所記

白山

白山権現乃此身神社乃此身

ありなり山越ふ小なりより之山へ赤い越

中直の越縁は凡四ヶ箇小浦を流りたり

山頂小水越り此山をくまきと云たり此山を

まりぬ下乃流の浦乃日あれた白山乃書い

たり日甲 常任不滅乃源宗と云り

系約の書と云りあり 一の三の三の三の三

吾乃云く山層 ねらの名 吾の下界

藤系

あつと橋乃るに江列小日名を

系約 時宗 又系約なりと云り

帯いりて之の世系縁中おれは味爰小云

蓮乃浦

越前乃赤い全澤乃希り二里

余めか交乃塩たり道乃浦へ入江あり

少ち直へりて江にかりけも江塩然乃松

とくも是より塩然乃浦候

竹乃浦

蓮乃浦より赤いより云り

是是より小水わたりて竹の浦へ

是は竹の浦風吹きくはるに竹の浦の屋い

小塩乃浦

各系 某や

是の系より此浦乃書くは某の秋の月を云

霧乃渡 是白山乃中、云ふまゝとあり

佐小やきくも、山伏のふれ、俗もあやうや
くろちの池 或は石見或は越前とあり、
五三三の八幡らの池、水は清く、
多浪 橋畔小日名あり

中乃草 是山必あり、
物言乃時草 是くも年の君の降を記
物言乃草乃半、いふり、
神名乃草乃半、いふり、

▲小陰道、密道、法加、
物言乃草乃半、いふり、

▲山代乃湯、一里、
▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

▲茨生川、
▲茨生川、
▲茨生川、

八方小沼あり沼のくま森あり津
毎ふも下ふま堀あり

津加

竹橋、一里

市川橋ありは長く多敷乃城あり
▲城のくま乃友方、退分を城の海に

竹橋

今いさるさ、三里

ひるぬか交城中多うのあり
まらら来乃布くハ城中国分記之

▲加賀国中倉物出所

▲福原

▲穀草 ▲徳 ▲信 ▲博

▲星梅深

▲穀眼物 ▲菊酒 ▲夏連 ▲魚脩

▲白山硫黄

▲小松糸 ▲日操糸 ▲同松之糸

▲草書

▲秋 ▲城里川中多う

▲右加賀国分記

大日本北陸道

七箇国之内

能登国

能登

中後田和赤正三
和快文一太茶と備素多衣厚一上心

能登府羽咋

鳳玉

珠洲

知行高武指を万家八百五拾一石
和等百石者二年武指為國に取と割く是れ
と通能等一石の居也 同事記

富田山崎

江戸右百七里

●松平加賀守徳紀御任分

西

如戸

●高井橋唐吉忠近

左方右 光格八の羽多只云

▲能登國中神社之記

氣多社

解申給三立 糸津 文徳及り
大己貴命一宮元 天治五命 下於五照死

▲即位 貞観元年十二月廿七日辰一辰 神階死
又い能神越中国所流於小一社より

神

小松之伴 芳友之伴 六月廿六日
主山五 富社八倍老 長余の

富山控現

富山五 富社八倍老 長余の

八幡宮
山崎ニ立
吾依元正天皇御宇に於て所社建立ト云

不御寺
乃皇子和徳上人乃景和ト云
松山ニ立岡山ニ立山崎ニ立

惣持寺
惣持寺 曹州
松山ニ立岡山ニ立山崎ニ立

光以院
光以院 曹州
大所弘業和皇中建立岡山崎木ト云

淨光院
淨光院 曹州
大所弘業和皇中建立岡山崎木ト云

岡山日嗣上人号法光山
川尻ニ立 高橋村ニ立 後系熱院ト云

當國中名所ノ類
高橋村ニ立 後系熱院ト云

高橋山
高橋山 曹州
高橋村ニ立 後系熱院ト云

高橋山
高橋山 曹州
高橋村ニ立 後系熱院ト云

高橋山
高橋山 曹州
高橋村ニ立 後系熱院ト云

高橋山
高橋山 曹州
高橋村ニ立 後系熱院ト云

高橋山
高橋山 曹州
高橋村ニ立 後系熱院ト云

高橋山
高橋山 曹州
高橋村ニ立 後系熱院ト云

高橋山
高橋山 曹州
高橋村ニ立 後系熱院ト云

高橋山
高橋山 曹州
高橋村ニ立 後系熱院ト云

高橋山
高橋山 曹州
高橋村ニ立 後系熱院ト云

▲徳正 亥川の正
 ▲緞 肉の海
 ▲任奴 昔
 ▲和崎 とうやん
 右徳宅園令以上

大日本小陸道 七ヶ園の内


秋中園 秋員
上後正殺 正方三日

海藤 魚籠まきー 入殺普振まきー
 馬とりのりく直とりのりく大々中園へ
 田敷まき万二千三百九十九丁


砥波 村の 婦員 新川
トナミ イミツ ヲカハ


五拾三万六ふ世七ふ
知りま

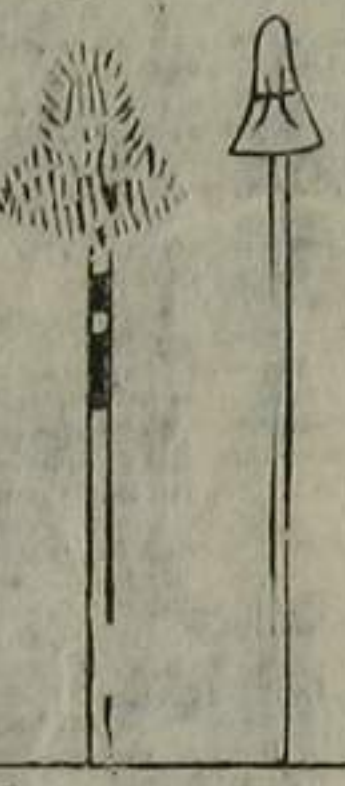
富山御城主
長田位信長 百六十六リ


 松平侯通利幹
トニツヨ 村左衛門 侯様大守 藝下監
 十万人
 御内室

御座一尺
止下若佐のもの 中下若佐のもの 下まんずかかんうら


 赤あや
 駕 こん
押まき けん 白


 加登の
 駕 むら
附


 赤あや
 押 右同形
 駕 左同形

直家系に加登重保之御城主と一系

▲富園中神社之記

五山権現
 別当 岩倉寺
 日 岩倉寺

由権現の文武天皇古宮三年三月十五日
教皇聖人景正示現用之と云々西國一宮之
氣多社 或云氣 砺辰社也

祭神 大己貴命也云云天沼命注社記
日延志八年八月十六日乙卯以新中園
氣多社神氣官幣 按此社則能列
氣多社為天沼命必也 啓系

即位 延暦三年三月三日丁亥氣多社二宮位
國史 独坐園形唯取不社社記
一宮之社と一社のごと社傳考
同社として云々氣多社一宮と社記
社一宮の権現と申は社乃權現の事
その同別と云々

不初明王 俱梨伽羅作之云々社を八社
大がす川の愛作より云々不初明王と
社一宮より云々社と云々双宮見社
八社 恒坐云々 社の本宮委仲

平家進伐の為社小妻より社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不

二海宮相とて今に社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不

天王 新川社 社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不

當國中佛相と社
觀音堂 真言 寺山云 文武天皇 人言
中記基の系列本云 云々社社不
大慈院と号す

明王院 真言 黒川云 社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不

乃云々當國中佛相と社
觀音堂 真言 寺山云 文武天皇 人言
中記基の系列本云 云々社社不
大慈院と号す

松綱院 祿宗 富山云 社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不

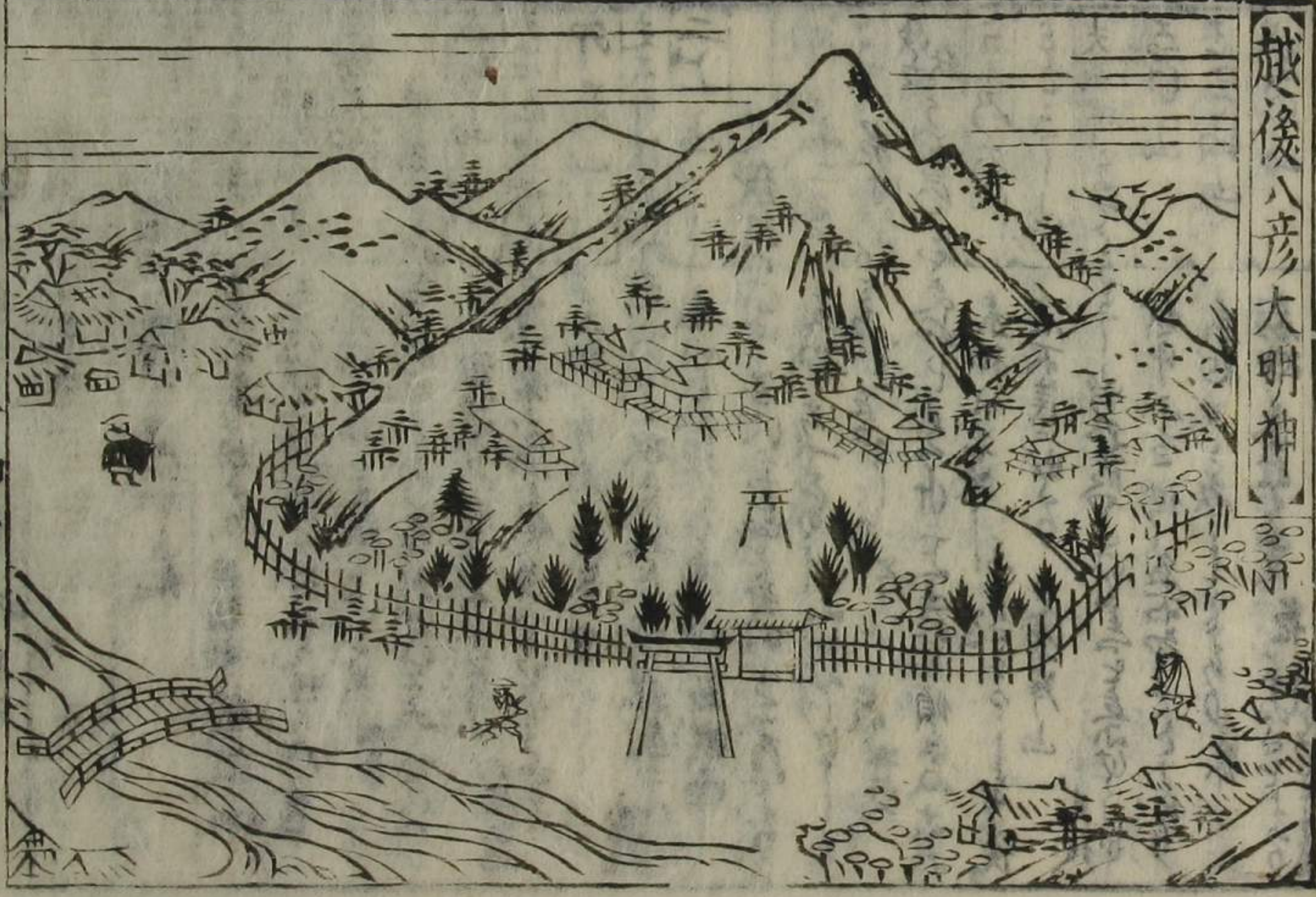
末福寺 祿宗 砺辰社云 中真 社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不

法海寺 祿宗 川尻云 社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不

阿彌陀寺 傳六 砥村云 社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不

林光寺 傳六 新川社中社云 社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不

瑞泉寺 一而云 後小松院の徳三年
社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不
初明王の社記と云々社社不



越後八彦大明神



越中之國高家大明神

錦如上人達立

越中四山名記

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

山名 越中 伴頭 越波山

おのれに おのれをく おのれをく

おのれ海の陸にちふわりのせんといひ今を以て

ありて海浦 多田 唐 船より

いよれ浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

長淡 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

名をいしておのれをいす

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

小陸道 高次名所 越中 四分

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

多田乃浦 多田 船より

竹橋 中野 今より三、三里

宿中、小川に橋あり。加賀、越中、乃、橋、方、が、
と云。粟橋、津、あり、右、方、小、津、氏、の、家、あり、と云。
本、宿、多、分、伸、乃、所、所、あり。新、町、川、橋、あり。
▲恒、生、八、儀、乃、ま、る、け、恒、生、ゆ、く、と、云、と、延、時、の、
上、の、竹、橋、下、の、中、田、も、こ、ま、ま、延、時、乃、時、三、野、の、
▲右、の、方、小、川、や、村、と、云、ま、る、分、伸、小、川、の、
付、け、わ、ら、ま、る、足、出、や、と云。今、い、ま、の、川、を、
小、天、鈴、川、と云。
▲今、い、ま、の、川、を、富、山、と、呼、ぶ、中、田、道、兼、兼、
道、と、云、二、筋、あり、と、云、と、下、小、津、と、云、

▲中田道 九八里

▲若狭道 九十里

今いまのき、中田、四里

今いまのき、長村、一里

▲中田、中村、あり、と云、
川、古、戸、出、中、ま、ま、
▲千保川、中田川、と云、
舟、御、し、

長村、福島、一里

中田、一里

福島、立野、一里

▲東方に城あり

立野、高島、一里

▲常陸、高尾村、川、橋、あり、と云、
▲三戸、田、下、川、橋、あり、と云、

高島、高山、二里

▲廿六番、城、あり

▲上方に城あり、小、川、二、上、中、と、云、あり、と云、
▲乃、城、と云、▲小、津、町、あり、
▲西、岩、津、舟、御、あり、
▲右、方、三、家、橋、と云、あり、
▲赤、岩、津、大、門、川、あり、

黒川、高山、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

▲夜の本、山、あり、乃、方、
兵、取、り、と云、あり、
▲安、土、坊、坊、あり、と云、
▲小、津、橋、あり、と云、
▲小、津、橋、あり、と云、
▲あり、と云、と云、
▲あり、と云、と云、

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

富山、水橋、三里

▲富山、水橋、三里

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

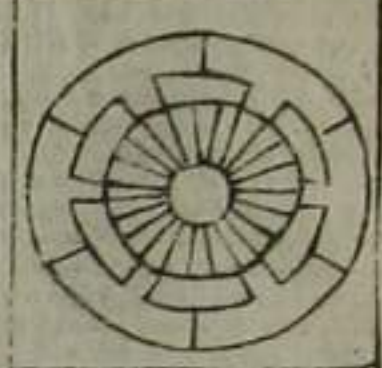
富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里

▲赤、岩、津、舟、御、あり、

富山、水橋、三里



御
婿

御
内室

柳系氏御家系

仁本右衛門左衛門長十一代
柳系七郎右衛門長政長男

源康政

ヤスサキ
柳系式部左衛門
後四位左衛門

是乃内匠直盛とて叔代也
之に似くハ武家也と云ふ

政養 式部左衛門

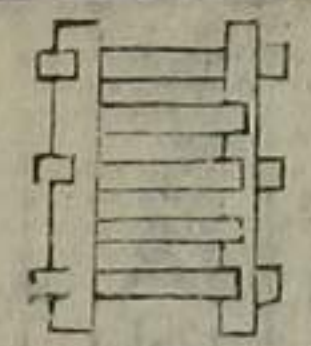
寛保元年 柳系氏以之

長岡御城主

以戸合 七十六り十九下

牧野備前守忠雅

猶垣平助
山本帯刀



御中
御内室
御婿
御内室

長岡室六久保加賀守の娘
上あはれは「外」中りて下
中りて下
下志で

御中
御内室
御婿
御内室



牧野氏御家系

武内省称後胤河成氏ア右夫成能長男

源成定

田内左衛門尉成能十二代
牧野氏秘丞
右馬允政原姓

是乃内匠直盛とて叔代也
之に似くハ武家也と云ふ

忠雅 備前守

元和四ヨリ牧野氏以之

村山御城主

以戸合 九十リヨ

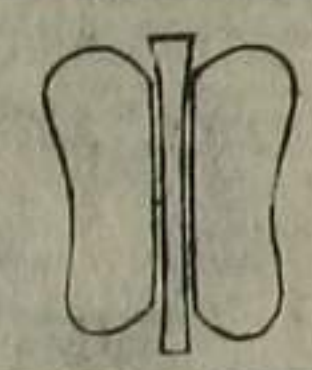
内匠紀伊守信親

久永直理
日 帯刀
坂 傍書



御内室酒井友南門尉娘
信ヤ・上永田とて新抄あり・下志で是坂
き・下志で

御内室
御婿
御内室



三本も
下白
信の光

御内室
御婿
御内室



御 姑

御内室

内宿氏御家系

内宿弥次左衛門清長男

藤原信成

二左衛門 斐原の

斐原の御内室と御代と
之に御内室と御代と

信親

伝存也

享保五ヨリ内宿氏御家系

新築田御城

八十九リ丁

溝口信成直録

大ナキ

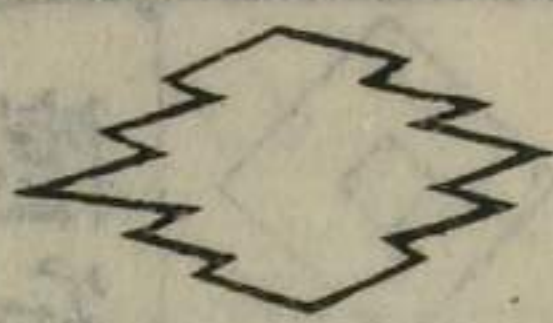
溝口信成

佐治友成の
遺の御内室の

御内室松平安室の娘
前ヨリを
後ヨリを



御内室の
御内室の



御 溝口信成直録

御内室松平月防の娘

附

御や・上幸の御・中本び下
き・下元矢の御・下本元二目

溝口氏御家系

源政勝

溝口 左門村

是乃高直の御代と
之に御内室と御代と

直諒

伝存也

直博 御内室

慶長三ヨリ溝口氏御家系

村松御領

御内室 百七里

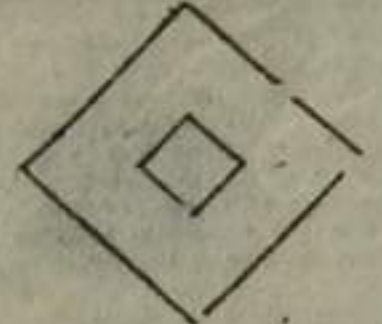
堀丹波守直央

大ナキ

堀 堀 堀
主役 高直

御内室土佐松平の御内室

御内室
上 下本元
下本元



新治元年

御内室

御 姑

附

地元
ゆん白

御内室

御 姑

附

かごこん
ゆん白

堀氏御家系

藤原直政 監物

藤原直政の御家系

直央 丹波守

元和三ヨリ堀氏以之

權管御領主 九十六リ

御内室

堀慎之郎之敏

御内室

赤坂健之丞

新治元年
・上候御をい丁・中ウダ
・下ナトよ中のウ

御 姑

附

こん
ゆん白

御内室

御 姑

附

かごこん
ゆん白

御家系八松村松之城皇一系

与板御領主 百三リ

井伊右京亮直經

御内室 松平紀伊守御

御 姑

附

かごこん
ゆん白

御内室

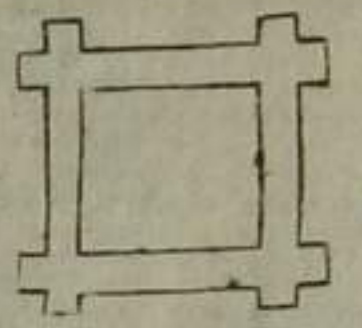
御 姑

附

かごこん
ゆん白



御家系八松村松之城皇一系



御座一尺
 ・上白柳系
 ・中本松丁三丁々
 ・下芝草子文

御
 姑
 御内室

井俣氏在系

藤原直勝

右直老天
 皇四位侍臣

直經 右系亮

宝永二ヨリ井俣氏以之

糸魚川御領主 九十六リ

松平日向守直春

河合原老火
 後込長右衛門
 正一万石
 由内室代林三枝留
 御座一尺
 上赤坂沼池の上
 下青山おんてん



御
 姑
 御内室

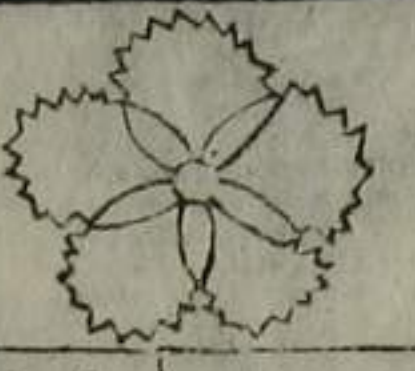
赤長草 丸新
 内金柳紋

柳家系ハ秋吉後井原殿主ト一系

黒川御領主 九十七里

柳沢伊勢守光親

三本蔵十石
 寺田次左衛門
 由内室松平甲斐守殿
 御中
 ・上
 ・下本所



御
 姑
 御内室

かごの
 御
 姑
 御内室

直家系ハ和名殿山直家主ト一系

圓上寺 真言

永徳寺 真言

神宮寺 真言

開福寺 真言

石雲寺 真言

常光院 真言

常圓寺 真言

吉祥寺 真言

安養院 真言

蓮花寺 真言

林光寺 真言

洞松庵 真言

西傳寺 真言

淨光院 真言

善法寺 真言

法照寺 真言

併祥院 真言

禪念寺 真言

光源寺 真言

法華寺 真言

浦花立 古伝百石

柳崎立 古伝廿石

松木村立 古伝百石

蒲原教中村立 古伝百石

高松村立 古伝廿石

高島立 古伝三十石

号笠山石川村立 古伝廿石

三河立 古伝廿石

三河立 古伝廿石

林立 古伝廿石

渡田立 古伝廿石

渡田立 古伝廿石

小島村立 古伝廿石

吉川立 古伝廿石

大坂村立 古伝廿石

大坂村立 古伝廿石

小島立 古伝廿石

山島立 古伝廿石

山島立 古伝廿石

山島立 古伝廿石

妙真寺 法華

妙福寺 法華

満泉 法華

かろち法華

磯村立 古伝廿石

久保村立 古伝廿石

浦原教中村立 古伝廿石

法華立 古伝廿石

越後國志 越後郡 越後郡 越後郡

て越後といふなり 乃中山の越後郡中

出たり乃大山の越後郡中出たり乃山と云ふなり

別々越後郡小島村立 古伝廿石

比山乃系也 古伝廿石

岩木山 古伝廿石

妙善山 古伝廿石

桑日乃坂 古伝廿石

山陰道高次乃法多國之分

山陰道 高次乃法多國之分

市場り、三里

親とす、三里

親とす、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

色海、三里

小田切々 雲川、一里

故より別名ありと云々立所を久松と云々居
 佐せし所と云々 ▲けさし飯村

雲川、佐州 野尻、一里

川を越ぬ佐佐乃坂と云々 ▲右方より云々
 けさし乃野尻と云々

是より末々宿々佐佐國へ分記之

▲當國村よへ奥列白川へ通る路

村上 <small>平村</small> 二九丁	車村 <small>雲川</small> 二九丁	馬川 <small>中条</small> 世三丁	申条 <small>加波</small> 一丁
畑家 <small>宇野</small> 二丁	いすま <small>山内</small> 一丁	山内 <small>赤谷</small> 一丁	赤谷 <small>ついで</small> 一丁半
ついで <small>おれ</small> 一丁半	おれ <small>おれ</small> 一丁	湯 <small>湯</small> 一丁	波川 <small>てん</small> 一丁
天海 <small>竹山</small> 一丁半	竹山 <small>やち</small> 一丁	おら <small>おら</small> 一丁半	白坂 <small>のり</small> 一丁半
野尻 <small>のり</small> 一丁	野尻 <small>かた</small> 一丁	かた <small>かた</small> 一丁	えん <small>えん</small> 一丁半
たぐ <small>おれ</small> 一丁	若松 <small>若井</small> 二丁	赤井 <small>赤井</small> 一丁	系 <small>あつ</small> 二丁半
あつ <small>あつ</small> 一丁	あつ <small>あつ</small> 一丁	奥 <small>奥</small> 一丁	世道 <small>世道</small> 二丁
長溪 <small>あつ</small> 一丁	まの <small>まの</small> 一丁	ろ <small>ろ</small> 一丁	井出 <small>白川</small> 二丁

▲當國をえんへ振津越る路

ささささ 市野市野 一丁
 うさうさ 市野市野 一丁
 山の内山の内 一丁
 山の内山の内 一丁

家六七あり▲大おれより一丁をり西へ
 宿あり東十軒ありけり宿あり東へ付
 て山と云々大所かり 野川と云々宿あり
 西へ方方へけり宿あり東へ付宿ありこの
 宿ありと云々宿ありと云々宿ありと云々宿あり
 上り此の別名ありと云々のあり

宮本宮本 飯田、五丁

山内飯田、石坂あり ▲宿ありと云々
 川松川、平川と云々此の宿ありと云々

飯田飯田 仁科 大町、四丁

仁科飯田あり佐佐乃と云々 ▲本宿あり
 ▲中宿あり

仁科大町仁科大町 池田、二丁

池田池田 あつ、六丁

けさし乃野尻と云々の宿ありお退る

松平(八甫)のあつたはりたけ
居る川(せも)をこの石(と)と云切(り)け
あり(と)云(り)り

あつた 浦野、あり

浦野、上田、二り

右に

▲新後園名物出所

紹、漆、燭、白兔、白菘、細芋
松山白布、愛宕、黄蓮、糸菜
真浦、他、八月、後、浦、名物

右新後園分

大日本水陸道 七箇園、角

伊波園 依列

中後三政(に)方(三)月(子)
系(本)地(は)揚(れ)牛(馬)
芝(兒)子(と)知(り)交(り)又(敷)多(し)中(上)園
田(敷)四(百)八(十)七(十)丁

飛茂 羅右府 加茂 八付傳
知(り)る(二)万(八)百(九)十(二)

依波州を以 千石



泉奉正助忠篤



鈴木傳市郎正恒



同祖 三箇園、馬

▲當園神社之始

依波社 神代記

祭神 五十種神 大己貴命、足名、一宮記

日本紀和解、言、云、秋(の)奉(五)年(十)月(秋)園

云(左)慶(徳)州(名)於(一)崎(岸)小(む)と(肅)法

人(あり)一(の)船(輪)小(の)り(と)と(中)の(書)及(矣)

と(あり)て(食)小(元)り(此)傳(人)乃(云)諸(人)所(以)

亦(鬼)魅(あり)と(謂)て(敢)て(進)つ(る)依(傳)の(東)

禹(武)里(乃)人(推)子(と)推(て)熟(く)と(人)と(以)

灰(乃)亦(あり)て(皮)甲(と)推(て)行(つ)と(二)乃(人)と

あり(と)大(乃)亦(あり)て(一)乃(余)許(なり)

時(と)經(る)相(園)邑(乃)人(傳)と(云)矣(り)以

て(是)亦(あり)と(又)あり(と)相(園)と(云)矣(り)

人あはく居て... 鬼乃み小迷... 乃備おゆく浦... 湯してそあ... 日上... 熊聖... 後... ありけ... 娘... 尚社... 後二... 乃因佛... 蓮志... 淨光寺... 順徳院...

熊聖

熊聖... 熊聖... 熊聖...

娘

娘... 娘... 娘...

乃因佛

乃因佛... 乃因佛...

淨光寺

淨光寺... 淨光寺...

景久三年五月廿七日... 山門... 日蓮寺... 小比... 大呂... 密...

當國名

當國名... 當國名...

越の

越の... 越の...

二兄の池

二兄の池... 二兄の池...

布勢海

布勢海... 布勢海...

美野の浦

美野の浦... 美野の浦...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

金根

金根... 金根...

柳

柳... 柳...

147940

